

News & Information

2026/7/7

〔PC-SODの第Ⅲ相臨床試験（検証試験）における症例登録終了のお知らせ〕

オキサリプラチンによる CIPN（化学療法誘発性末梢神経障害）を対象疾患とした PC-SOD の第Ⅲ相臨床試験におきまして、被験者登録が目標数に達し、このたび症例登録を終了しましたのでお知らせ致します。

「PC-SOD (LT-1001)」は、当社独自の DDS 技術を用いたバイオ医薬品であり、様々な疾患の原因となっている活性酸素を消去できる画期的な新薬です。CIPN は抗がん剤による副作用の一種で、抗がん剤投与後にしびれなどが生じ、重篤な場合には抗がん剤の投与が続けられなくなったりしびれが後遺症として一生残ったりするため、臨床現場では大きな問題となっています。当社は、この副作用を予防する方法（薬）がないこと、及びこの副作用の原因の1つが活性酸素であることに着目し、動物実験により PC-SOD がオキサリプラチンやパクリタキセルによる CIPN に対して予防効果を示すことを発見しました。このうちオキサリプラチンによる CIPN に関しましては、前期第Ⅱ相臨床試験において一部の評価項目で有効性を確認したのに続き、第Ⅲ相臨床試験を昨年8月に開始しました。CIPN で苦しむ患者を一日も早く救いたい、日本から世界初の CIPN 予防薬を世界へ発信したい、という目標に向け、本臨床試験にご協力頂いている医師等のモチベーションは大変高く、関係者も驚くほど順調に被験者登録が進みました。その結果、予定より数ヶ月も早く目標症例登録数に到達し、症例登録を終了することができました。

今後は被験者への薬剤投与をスケジュールに従って行うこととなります。すべての投与が完了しましたら、データを精査し結果を解析します。順調に進みましたら、来年には結果が判明すると考えております。本臨床試験の進捗につきましては、今後も適時お知らせします。

以上